

2026年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
国語	国語教養	2	3年次（選択）	土橋芳範			
選択するときの条件	3年次 選択履修						
使用教科書		使用副教材	自主教材（学校設定科目のため）				
科目の目標			道徳教育のねらい				
国語で適切に表現する能力を育成し、言語文化に対する関心を深め、社会生活を充実させるための基礎的な言語感覚を身に付ける。			人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。				
学習活動内容		育てたい6つの力（資質・能力）					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
1	現代文 漢字	○	◎			○	○
2	現代文 語彙	○	◎			○	○
3	現代文 表現	○	○	○	◎		
4	現代文 要約	○	○	◎			
5	古文 文法	○	○				
6	古文 文学史	○	○			○	
7	漢文 句法	○	○				
8	漢文 重要語	○	○			○	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
24							
評価の観点	知識・技能	思考 判断 表現		主体的に学ぶ態度			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。						
	A: 目標に対する到達度が70%～100%		B: 目標に対する到達度が45%～69%		C: 目標に対する到達度が0%～44%		
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組		提出物	考査	
	知識・技能		○				
思考・判断・表現	○	○		◎			
主体的に学ぶ態度	◎	◎		○			

国語教養 授業計画

授 業 計 画					実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前	4 (4)	漢字問題(4)	一つ一つの漢字を正確に読み、また、自分の手でしっかりと書く練習をする。	読み(2) 書き取り(2)	1	
	5 (16) 6	慣用表現・常識語・重要語問題(15)	慣用句や故事成語を中心に理解・習得し文学的な文章の読解に役立てる。また、説明的な文章を読む力は語集力が基礎となることを認識する。	二字熟語(3) 三字熟語(3) 四字熟語(3) 慣用表現意味、その他(3) 対義語・類義語(2) 外来語(1)		
	中間考査(1)					
期	7 (4)	文学史問題(4)	古代から現代に至る日本文学の歴史について理解する。	古典文学の流れ(2) 近現代文学の流れ(2)	1	
	8 (2)	口語文法問題(2)	口語文法の知識は、文章構造の基礎となる点で見逃せないものであることを認識する。	品詞・識別(1) 表現(1)		
	9 (8)	古文単語・常識問題(7)	古文読解の基礎となる単語と、古文を読む上で当然知っておくべき知識を習得する。	古文単語、文脈把握(3) 古文常識(2) 和歌・俳諧の修辭(2)		
	前期期末考査(1)					
後	10 (15) 11	古文文法問題(15)	正しい古文読解のために、活用のある語を基本として文法を再確認していく。	用言(3) 助動詞(5) 助詞、係り結び(1) 敬語(2) 識別(4)	1	
	12 (11)	漢文句法問題(6)	句形に基づいて、内容をきちんと把握する漢文の読み方を身に付ける。	否定、使役、受身(2) 疑問、反語、感嘆、選択(2) 仮定、比較、比況、抑揚(2)		
		現代文要約問題(4)	文章の構成を意識して読むことで、筆者の主張を早く正確に読み取る。	100字要約演習(2) 200字要約演習(2)		
後期中間考査(1)				1		